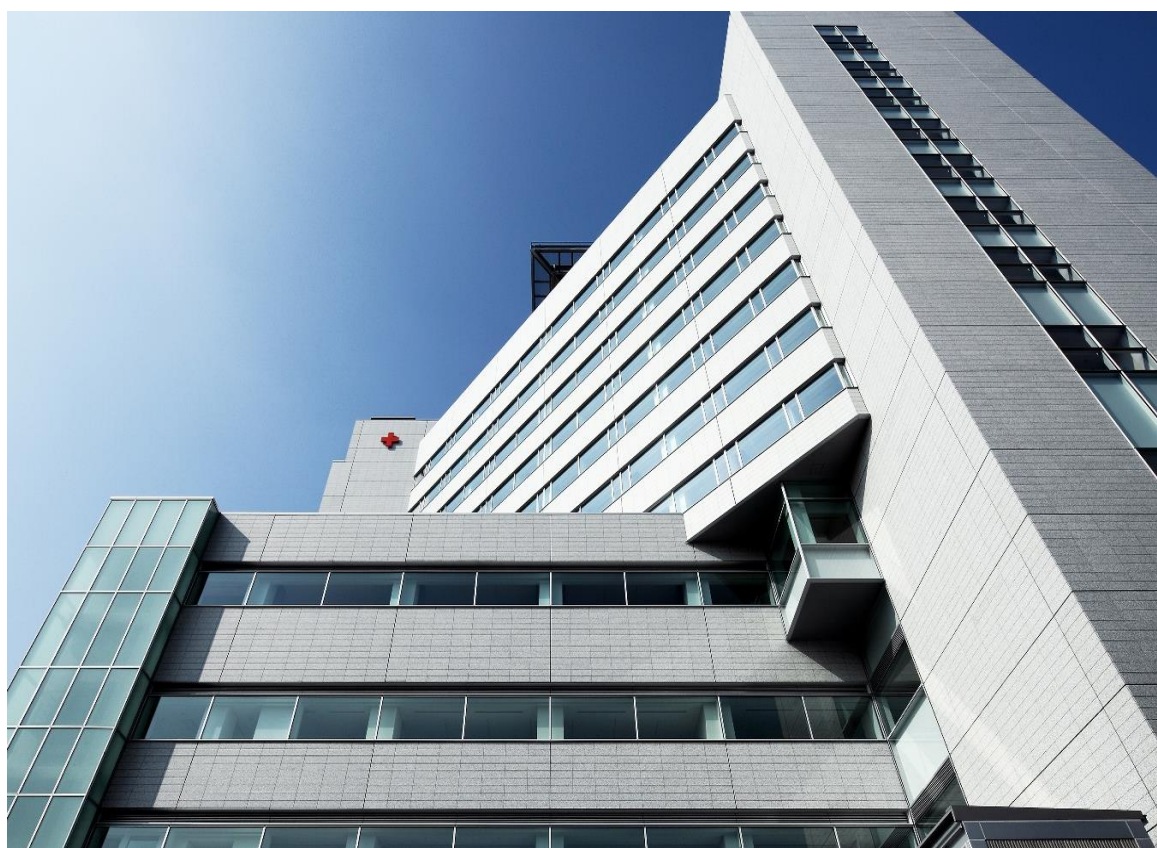


日本赤十字社医療センター

臨床研修について

【2025 年度採用者向け案内】



日本赤十字社

日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center

ご挨拶

日本赤十字社医療センターにおける臨床研修の特徴は、将来を見据えた専門性の高いプログラムを備えていることにあります。

当センターでは、現行の医師臨床初期研修制度が導入される以前から臨床研修医を受け入れ、多くの専門医を育成してきました。それを引き継ぐ形で現在の研修プログラムも内科・外科・小児科・産婦人科・特定診療科の5つのコースに分かれています。いずれのコースにおいても診療科専門医資格の取得を見据えた研修であると同時に、他科ローテートにより幅広い分野で研鑽を積むことができます。

当センターでは、全職員が一丸となって質の高い診療体制を維持し、がん診療、小児・周産期医療、救命救急及び災害医療を中核として高度な医療を提供するとともに、安全と安心の医療を守り続けています。当センターの目指す医療は救急医療にも現れています。夜間休日診療においても、医師と研修医による診療体制を維持し、救急診療を担っています。

当センター初期研修医は病院敷地内に整備された寮に居住し、安定した住環境のもとで研修しています。院外研修として学会、研究会、講演会などへの参加、院内においては研修成果を発表する「研修医発表会（2回/年）」、CPC（8回/年）での発表、論文作成など学術活動を奨励しています。

初期研修修了後の進路として、当センター後期研修へ進む医師の他、大学医局に所属しながら当センターへ再赴任する医師も数多くおります。平成30年度より開始した新専門医制度下における19基本領域中 8 領域（内科・外科・小児科・産婦人科・放射線科・麻酔科・病理・救急科）において、基幹施設としての専門研修プログラムを策定しております。また他領域の殆どにおいては、大学病院等の連携を組んでおります。各研修医が目指す専門医資格取得を視野に入れた研修に重点を置くと同時に、総合的診療能力の体得に努めるよう、教育、多職種との連携を通じて人間味豊かな臨床医の育成を目標にしています。

日本赤十字社医療センター

臨床研修運営委員会

—当センターの臨床研修の特色—

◆ 当センタープログラムと各プログラムの募集定員数

- | | | |
|---------------|-----|-----------|
| 1) 内科プログラム | 4 名 | |
| 2) 外科プログラム | 4 名 | |
| 3) 小児科プログラム | 3 名 | 計 16 名/学年 |
| 4) 産婦人科プログラム | 2 名 | |
| 5) 特定診療科プログラム | 3 名 | |



特定診療科プログラムとは、病理、脳神経外科、整形外科、麻酔科、救急科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科のいずれかの特定診療科を選択し、研修するプログラムです。特定診療科は応募時に決めていただき、応募後の変更はできません。

2024 年度は：

1 年次 16 名（男女比 7：9）

2 年次 16 名（男女比 10：6）

＋ 東京大学医学部附属病院からのたすきがけ 1 年次 1 名 の計 33 名が在籍。

◆ 当センターのプログラム詳細

1) 内科プログラム

内科系専門科を最大合計14か月（必修の6か月を含む）、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科1か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月をローテーションします。

選択8か月は内科研修としますが、希望により自由選択科を1か月経験することができます。

内科系専門科＝糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、膠原病・アレルギー内科/感染症科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科

内科系専門科は、原則2か月単位で研修を行います。

自由選択科（最大選択可能数：1か月）：放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、緩和ケア科

ただし、化学療法科/緩和ケア科を内科で選択した場合は、自由選択で緩和ケア科を選択することはできません。

内科6か月 (厚労省必修)	救急科3か月 (厚労省必修)	精神科1か月 (厚労省必修)	小児科1か月 (厚労省必修)	産婦人科1か月 (厚労省必修)
糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、 膠原病・アレルギー内科/感染症科、 腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科 (原則2か月単位で研修)				

地域研修1か月 (厚労省必修)	外科2か月 (厚労省必修1+必修1)	麻酔科1か月 (必修)	選択8か月 (選択)
渋谷区医師会 相模原 赤十字病院	呼吸器外科、乳腺外科、 胃・食道外科、小児外科、 肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、 心血管外科		糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、 膠原病・アレルギー内科/感染症科、 腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科 (自由選択科最大1か月経験可能)

2) 外科プログラム

外科専門科を最大合計9か月（必修の1か月、当センター必修の1か月の計2か月を含む）、内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月をローテーションします。

選択7か月は外科研修としますが、希望により自由選択科を2か月まで経験することができます。

外科専門科＝呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、心血管外科、小児外科

自由選択科（最大選択可能月数：2か月）：放射線科、脳神経外科、泌尿器科、病理

内科6か月 (厚労省必修)	救急科3か月 (厚労省必修)	精神科1か月 (厚労省必修)	小児科1か月 (厚労省必修)	産婦人科1か月 (厚労省必修)
糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、 膠原病・アレルギー内科、 腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科 (原則2か月単位で研修)				

地域研修1か月 (厚労省必修)	外科2か月 (厚労省必修1+必修1)	麻酔科2か月 (必修)	選択7か月 (選択)
渋谷区医師会 相模原 赤十字病院	呼吸器外科、乳腺外科、 胃・食道外科、小児外科、 肝胆膵・移植外科、 大腸肛門外科、 心血管外科		呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、小児外科、 肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、心血管外科 (自由選択科最大2か月経験可能)

3) 小児科プログラム

小児科を最大合計8か月（必修の1か月を含む）、内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科2か月、外科2か月、産婦人科1か月、精神科1か月をローテートします。

選択7か月は小児科研修としますが、希望により自由選択科を2か月経験することができます。

自由選択科（最大選択可能月数：2か月）：NICU（NICUは2か月連続）、放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続）
ただし、化学療法科/緩和ケア科を内科で選択した場合は、自由選択で緩和ケア科を選択することはできません。

内科6か月 (厚労省必修)	救急科3か月 (厚労省必修)	精神科1か月 (厚労省必修)	小児科1か月 (厚労省必修)	産婦人科1か月 (厚労省必修)
糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、 膠原病・アレルギー内科/感染症科、 腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科 (原則1か月単位で研修)				

地域研修1か月 (厚労省必修)	外科2か月 (厚労省必修1+必修1)	麻酔科2か月 (必修)	選択7か月 (選択)
渋谷区医師会 相模原 赤十字病院	呼吸器外科、乳腺外科、 胃・食道外科、小児外科 肝胆脾・移植外科、 大腸肛門外科、 心臓血管外科		小児科最大7か月 (自由選択科最大2か月経験可能)

4) 産婦人科プログラム

産婦人科を9か月（必修の1か月を含む）、内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科1か月、外科2か月、小児科1か月、精神科1か月をローテートします。

内科6か月 (厚労省必修)	救急科3か月 (厚労省必修)	精神科1か月 (厚労省必修)	小児科1か月 (厚労省必修)	産婦人科1か月 (厚労省必修)
糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、 膠原病・アレルギー内科/感染症科、 腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科 (原則2か月単位で研修)				

地域研修1か月 (厚労省 必修)	外科2か月 (厚労省必修1+必修1)	麻酔科1か月 (必修)	産婦人科8か月 (必修)
渋谷区医師会 相模原 赤十字病院	呼吸器外科、乳腺外科、 胃・食道外科、小児外科 肝胆脾・移植外科、 大腸肛門外科、 心臓血管外科		産婦人科8か月

5) 特定診療科プログラム

(1)～(4)以外の特定診療科を専攻するプログラムです。

特定診療科（病理、脳神経外科、整形外科、麻酔科、救急科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科）の中から1科を選択します。
履歴書の応募職種欄に、希望する特定診療科を記載してください。応募後の変更はできません。

特定診療科最大7か月、内科6か月、救急科3か月、地域1か月、麻酔科2か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月を研修します。
選択7か月は特定診療科研修としますが、希望により自由選択科を3か月まで経験することができます。

内科6か月 (厚労省必修)	救急科3か月 (厚労省必修)	精神科1か月 (厚労省必修)	小児科1か月 (厚労省必修)	産婦人科1か月 (厚労省必修)
糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、膠原病・アレルギー内科/感染症科、 腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科（原則2か月単位で研修）				
地域研修1か月 (厚労省必修)	外科2か月 (厚労省必修1+必修1)	麻酔科2か月 (必修)	選択 7か月 (選択)	
渋谷区医師会 相模原 赤十字病院	呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、小児外科 肝胆脾・移植外科、大腸肛門外科、心臓血管外科		特定診療科最大7か月 (自由選択科最大3か月経験可能)	

特定診療科別 自由選択科 詳細

病理	放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、集中治療科、緩和ケア科※（各2か月連続）、保健・医療行政（2か月連続）	耳鼻咽喉科	放射線科、脳神経外科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科※、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続）
脳神経外科	放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科※（各1か月）、保健・医療行政（2か月連続）	泌尿器科	放射線科、皮膚科、病理、集中治療科、緩和ケア科※、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続）
整形外科	放射線科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科※（各1か月）、保健・医療行政（2か月連続）	眼科	放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、病理、集中治療科、緩和ケア科※、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続）
麻酔科	放射線科、皮膚科、病理、緩和ケア科※	救急科	選択7か月のうち、救急科3か月、放射線科1か月を経験します。 自由選択科：救急科（追加研修）、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続）

※ 化学療法科/緩和ケア科を内科で選択した場合は、自由選択で緩和ケア科を選択することはできません。

プログラム詳細は HP 教育研修推進室内 「初期臨床研修プログラム」(案/申請中)をご覧ください。



地域医療研修（1 か月）について

2 年次に実施。渋谷区医師会に所属する研修協力施設あるいは、相模原赤十字病院で行います。



お給料

- 1 年次：
23 万円（賞与 10 万円／年）、臨床研修手当（上限 15 万円／月 評価に基づき支給）
- 2 年次：
27 万円（賞与 30 万円／年）、時間外手当（当直 1 回あたり約 3 万 5 千円）



住まい

- 独身寮（敷地内 病院から徒歩数分）
間取り 1 K、宿舍費及び共益費 5.3 万円～5.8 万円／月、光熱水費等 自己負担
- 賃貸住宅に対する住居手当有（条件あり）



採用試験（募集要項は 6 月中旬公開予定）

- 2024 年 8 月 17 日（土）に実施します。



病院見学

- 2025 年度採用者向けの現 6 年生を対象とした見学を実施中。
- 2026 年度採用者向けの現 5 年生を対象とした見学は 2024 年 8 月から実施します。
2026 年度採用者向け見学の詳細は、7 月以降当センターホームページをご覧ください。



進路

日本赤十字社医療センター、大学病院、市中病院など



当センター 後期研修制度（2018 年度開始 新専門医制度）

- 当センターが基幹プログラムの認定を受けている領域：
内科・外科・小児科・産婦人科・放射線科・麻酔科・救急科・病理
- 2024 年 4 月 1 日現在 後期研修医 64 名

1 年次	24 名	うち、内部から 8 名
2 年次	21 名	うち、内部から 5 名
3 年次	19 名	うち、内部から 1 名



**ご質問があれば、
教育研修推進室まで
お問い合わせください。**

**メールアドレス：
rinsyokensyu@med.jrc.or.jp**



研修医の主な出身大学

杏林大学、慶應義塾大学、高知大学、神戸大学、国際医療福祉大学、順天堂大学、昭和大学、千葉大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京女子医科大学、東北大学、日本大学、日本医科大学、北海道大学、山梨大学、横浜市立大学など

敷地内独身寮 レジデンス宮代(設備など)の概要



エントランス。モニター付きオートロックです。
エレベータホール・廊下は広く、引越に困る事はありません。



玄関には大容量の収納。
壁には予めフックが取り付けられています



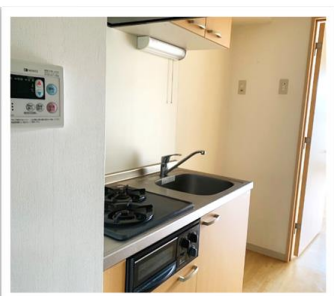
バス・トイレは独立。トイレ内には収納があります。
十分な広さのバスルーム。給湯温度は給湯器で調節可能で
もちろんシャワーも完備。



洗濯機は室内に設置可能。



主室はエアコン・収納完備。



キッチンには収納・2口コンロ完備。
横には冷蔵庫を置くスペースもあります。



日本赤十字社医療センター初期研修医の1年間

4月

- ◆ 入社式
- ◆ オリエンテーション
- ◆ 配属
- ◆ 夜間・休日 救急外来研修開始

5月

- ◆ 1日 日本赤十字社創立記念日
- ◆ 8日 初期研修医との懇親会
- ◆ クルズ（勉強会）
（7月初旬まで）

6月

7月

- ◆ CVカテテル挿入研修

8月

- ◆ 初期研修医採用試験
どんな出会いがあるか
楽しみです！

9月

- ◆ 後期研修医採用試験
みんな残ってくれるかな？

10月

クルズ（就業後）
救急外来で遭遇する頻度の高い症例・疾患についてのミニレクチャー。
4月～7月頃にかけて実施します。
一例：
「風邪の診かた」、「外科的腹痛」、「小児総論・各論」、「婦人科の腹痛」、
「頭部外傷・脳卒中」、「めまい・頭痛」、「創傷処置」、
「アレルギー疾患対応」、「妊産婦・授乳婦への投薬」、縫合練習など

11月

- ◆ 赤十字病院臨床研修医研修会への参加
- ◆ 研修医発表会

12月

- ◆ 12/28仕事納め
- ◆ 1/4仕事はじめ

1月

基本的臨床能力評価試験

2月

3月

- ◆ 修了式
はいはい、臨床医として活躍します！

研修医発表会（11月～12月）
日ごろの研修の成果を口演又はポスター形式で発表します！

CPC（臨床病理検討会）
剖検症例をもとに医療行為を振り返ります。2年目初期研修医の先生はペアになり発表を行います。病理医、診療科医師、初期研修医が参加します。

力試し！

～参考～

2023 年度実施 採用試験

実施日・場所：令和5年8月19日（土）日本赤十字社医療センター

募集人数：16名（内科4名、外科4名、小児3名、産婦2名、特定3名）

応募資格者：

- (1) 118回医師国家試験受験予定者で、マッチングシステムに参加登録するもの
- (2) 令和5年3月までの大学卒業者で医師免許を有しているもので、マッチングシステムに参加登録するもの

応募書類：

- (1) 履歴書（様式指定、写真貼付、自筆のもの）
- (2) 卒業見込み証明書または卒業証明書（原本）
- (3) 成績証明書（原本）

応募締切：令和5年7月31日（月）17時※必着・持参

採用方法：筆記試験（医学等、英語）・小論文・面接試験

受験者数：101名

マッチング数：55名 フルマッチしている。

医師国家試験合格発表：令和6年3月15日（木）

令和6年度も5年度と同様のスケジュールで、採用試験を予定しています。